

「名言・格言」

ものを言わぬ宝石のほうが、
どんな人間の言葉よりも、
とかく女心を動かすものである。



ウィリアム・シェイクスピア William Shakespeare

劇作家、詩人。英国ルネサンス演劇を代表する人物。最も優れた英文学作家ともいわれる。

【その生涯】

1564年4月、イングランド王国のとても裕福な家庭に生まれる。父は成功した皮手袋商人で、市会議員でもあり、母はジェントルマンの娘であった。

1582年、18歳のシェイクスピアは26歳の女性アン・ハサウェイと結婚。1583年に長女、1585年には長男と次女の双子が生れる。長男は1596年に早世。

1592年頃までにシェイクスピアはロンドンへ進出し、演劇の世界に身を置いた。彼は俳優として活動するかたわら次第に脚本を書くようになる。

1594年の終わりごろには、俳優兼劇作家であると同時に、宮内大臣一座として知られる劇団の共同所有者にもなっている。1603年にエリザベス1世が死去してジェームズ1世が即位したさい、新国王が自ら庇護者となることを約束したため国王一座へと改称するほど、シェイクスピアの劇団の人気は高まっていた。

シェイクスピアは上演する戯曲の多くを執筆し、劇団の経営に関与するかたわら、俳優業も継続して『ハムレット』の先王の幽霊や、『お気に召すまま』のアダム、『ヘンリー五世』のコーラスなどを演じたといわれている。シェイクスピアは1613年に故郷ストラトフォードへ引退し、1616年4月に51歳で没した。